

I. 社会的貢献事業

1. 地域情報化推進事業

(1) 地域情報化推進イベントの実施

- ・通常総会、賀詞交歓会の開催に合わせ、広く県民に呼びかけ、IT の機運を高め、啓蒙を促進するため、適切な講師とテーマを選び、講演会を開催する。(経営)
- ・「MISA 存在感醸成・プレゼンスの向上」等を狙いとしたイベントを開催し、ICT 利活用促進を支援すると共に地域力を広くアピールする。(経営)
- ・会員及び外部からの当協会に対する理解度促進に向けたコミュニケーションツールとしてのイベント (ICT CONFERENCE 開催等) を企画・開催する。(グローバル)

(2) 地域DX推進への参加・支援

関係行政機関・団体が主催する IT 活用の普及啓発に関する施策に参加・協力し、地域の ICT 利活用促進に貢献する。

- ・みやぎDX推進協議会等 (事務局、政策提言)
宮城県が主催する「みやぎDX推進協議会 (旧：宮城県高度情報化推進協議会)」の役員として運営に参画し協力する他、関連団体等が実施する情報化促進・啓発事業等に参加・協力する。
- ・中小企業 ICT 活用推進事業 (事務局)
今年度も、(公財)みやぎ産業振興機構と連携し、ICT 活用による県内中小企業の経営力向上と成長・発展並びに県内 IT 産業の更なる活性化に貢献する。
- ・MISA 会員企業間の交流と支援機関との連携等 (経営)
総会や賀詞交歓会等交流イベントの活用や各関連団体との効果的連携を推進する。

(3) 地域社会への貢献活動 (福利厚生)

県内NPO団体との連携等、自主的なボランティア活動への取り組みを行う。

(4) 地域連携・交流の強化 (経営、事務局)

地域主催のイベントなどへの参加、地域向けセミナーやコンテストの開催、他団体との協力等により MISA の知名度向上を図る。

2. 調査研究事業

2-1. 経営力強化

(1) MISA会員企業動向調査の分析・フォローアップ

- ・必要に応じ経営委員会/政策提言委員会の連携により調査施策・項目 (ビジョン KPI など) について検討し、定点観測的に会員へのアンケート調査を実施する。(経営)
(10～11 月)
- ・仙台市が四半期ごとに実施している『仙台市企業経営動向調査』に対して、会員へのアンケートを実施し、当業界動向の把握を行う。(事務局) (4 月、7 月、10 月、1 月)

(2) 企業体質強化への対応 (経営)

若手経営者育成を目的としたテーマを選定し、交流イベントを実施する。(7 月、10 月、1 月)

2・2 事業共創に関する調査・研究(事業共創)

中期事業計画に掲げる「目指す姿」の実現に向けて、「会員企業が顧客や大学、自治体などとの連携を通して、新たな事業を共創するためのデジタルエコシステム構築を目指す」をミッションとして、引き続き内外の協力を得ながら事業に取り組む。

(1) 新規事業創出の強化

事業化を見据えたアイデア創出、DX 推進、生成 AI 活用、スタートアップ連携、M&A、資金調達等に関するセミナーやワークショップを開催し、新規事業創出力の底上げを図る。

- ・生成 AI 活用セミナー（バイブコーディング等）
- ・ウェルビーイングセミナー
- ・データから考える経営計算セミナー

(2) テーマ別部会活動の高度化

情報サービス産業への波及効果の期待される分野について、関連団体などとの連携により、新たなビジネスを生み出すための部会ごとに対応を継続する。

- ・製造業向け事業部会(みやぎ工業会との連携)
- ・農業向け事業部会(宮城県農業法人協会との連携)
- ・ウェルビーイング分野向け事業部会(仙台フィンランド健康福祉センターとの連携)

(3) 産学官連携の深化

- ・経済産業局、宮城県、仙台市と連携し行政施策の説明会やパネルディスカッション等
- ・産学官連携による地方創生、地域課題を解決するスキーム作り、ハッカソンの開催
- ・事業構想力強化を目的としたセミナーの開催

(4) 他業界団体、協会などとの連携・協力

他業界団体、協会などと積極的な連携・協力を図るべくコミュニケーションを通じ共通課題などについて理解を深める。

- ・仙台市産業振興事業団
- ・仙台市市民文化事業団
- ・仙台市スポーツ振興事業団
- ・仙台観光国際協会
- ・みやぎ産業振興機構 他

3. 人材の確保・育成に関する事業

3・1 人材確保推進に関する事業(人財・確保)

「伊達な ICT-WORK せんだい・みやぎ」プラットフォームを軸に、学生・求職者への業界理解促進と県内就業促進を図る。さらに、産学官連携体制のもと、キャリア支援、インターンシップ、合同説明会等を通じ、地域人材の確保と定着を推進する。

また、UIJ ターン促進および人材紹介事業を通じ、多様な人材流入を図る。

(1) 学生向け啓蒙活動

a. 業界研究会の開催

業界研究ニーズの高い非情報系の大学・短大を主なターゲットとし、出前形式による業界研究会を開催する。

b. 交流イベントの開催

情報系の大学・専門学校を主なターゲットとし、関係機関が開催するイベントへの参加を通じた学生との交流を図る。

c. 業界・職業研究インターンシップ

産学協同の実施体制のもとで、大学生、短大生、専門学校生等を対象とした業界・職業研究インターンシップを企画・実施する。夏期インターンシップは5日から3日へ短縮した上で、各校が主体となり学内授業で実施するPBL（プロジェクト型学習）に対する教育支援活動を強化する。

(2) 企業向け支援活動

a. 新卒者対象企業説明会

当協会の会員企業の新卒採用活動支援として、大学、短大・高専、専門学校等の学生を対象としたマッチング形式の企業説明会を実施する。

b. 企業情報の提供

県内 IT 企業の採用情報の提供を主体とした就職情報ウェブサイトを運営し、地元 IT 業界に特化した就職情報サイトとしての認知度向上と地位確立を目指す。

上記を実現するため、学生や求職者などの対象層によるウェブサイトへのアクセス増加のための施策を実施する。（企業の採用情報ではなく企業の魅力を発信するポータルサイトへの転換）

c. 採用促進型インターンシップ・イベント

就職活動の多様化に対応した小規模な採用促進型インターンシップ・イベントを実施する。専門学校、短大、文系大学、留学生向けなどそれぞれのターゲットを絞り込んだオープンカンパニーツアー（1day インターンツアー）を随時開催していく。

(3) 教育機関との連携活動

a. 連携会議の運営

「伊達な ICT-WORK せんだい・みやぎ」の事業運営全般に対する情報交換の場として下記の連携会議を開催し、協力関係の継続につなげる。

a. 大学・短大の就職担当教職員との連携会議 （6月、11月、2月）

b. 専門学校等の就職担当教職員との連携会議 （6月、2月）

b. 産学連携 情報交換会の開催（9月）

教育機関の就職担当教職員と会員企業の経営者・採用担当者による情報交換会を開催する。教職員と企業が直接つながる場づくりを行うことで、最新の就活動向を産学で共有し地域への人材定着促進を目指す。

c. 教育機関との日常的な連携・コーディネーション活動

教育機関に対する定期訪問を通じ、県内 IT 企業への就職促進に係る各校教職員や学生の様々な相談に対応していく。

(4) 人材紹介及びUIJ ターンの促進

a. 人材紹介会社との連携（マッチング事業）

MISA 会員企業と個別の人材（新卒者、求職者）のマッチングを行う。実施に当たっては有料職業紹介の資格を持つ企業を主体とする。

b. UIJ ターンの促進

「宮城県プロフェッショナル人材戦略拠点」などの地域の UIJ ターン促進プロジェクトとも連携し、首都圏からの就業、転職希望者の確保を促進する。

3・2 人材育成に関する事業（人財・育成）

新人から中堅・次世代人材まで一貫した育成体系を構築し、高度な実務能力と先進技術の両側面において実践的な研修を実施する。

(1) 新入社員向け研修（認定職業訓練事業）

2026年度新入社員を対象に、社会人基礎力の養成、Java・DB・サーバサイド技術の基礎習得としての4コースを実施する。さらに、2年目社員に向けた業務スキル育成やマインド醸成のための1年目フォロー研修を行う。

① ビジネス基盤養成コース	4月
② システム開発技術者育成コース	4月～6月
③ 業務システム開発プロジェクト演習	6月
④ 新入社員基礎研修（単独コース）	4月
⑤ フォローアップコース	11月（時期見直し）

(2) ステップアップ研修

管理者候補生である30代～40代人材を対象に研修とコーチングを組合せたプログラムを開催する。レジリエンス開発、自分ならではのリーダーシップ・ポテンシャル・モチベーション発揮を図ることで新入社員等を育成できる環境・状態を自ら作り出し、会社や社会からの期待に応えられる人材へとステップさせる。（10月）

(3) 中堅社員向け研修

技術に加えてプロジェクト管理や若手社員の指導等、企業現場の中核としての役割を担う中堅社員層を対象に、円滑な業務推進、マネジメント力の向上等に関わる実践的研修を4コース程度実施する。(8月、10月、11月、12月)

(4) 次世代研修

トップリーダー等の講演を通して、次世代に求められるスキルや考え方を学ぶとともに次世代リーダー達が自ら業界の発展に寄与できる横のつながり構築を図る。(8月)

(5) 技術紹介（技術向上セミナー）

先進技術(AI、データアナリスト、IoT、ブロックチェーン、情報セキュリティ等)や話題のエンジニアの講義・講演ほか、施設見学も含め技術紹介を実施する。(8月、11月)

(6) 人材育成セミナー

人材育成に資するセミナーや講演会を開催する。(8月)

3・3 人材育成に関連した地域貢献事業

マイスターハイスクール事業への協力を行うと共に若年層への業界PR活動を推進する。あわせて行政の公募型プロポーザル事業への企画提案を通じ地域におけるIT・DX人材育成の中核的役割を担っていく。

(1) マイスターハイスクール事業（人財）

仙台市が仙台工業高等学校において推進する「マイスターハイスクール事業」に対し、事業運営や講師派遣等を通じた協力を行う。特に、2025年4月に新設された「情報科」については、業界からメンターの派遣を行い、IT関連技術者の「地学地就」を推進するため、業界上げて協力する。

(2) 若年層（児童・生徒）に対する業界PR事業（人財）

地域の小中高や自治体等からの依頼に応じ、職場見学の受け入れや職業理解イベントへの講師派遣などの協力を行う。

(3) 行政委託事業（地域IT・DX人材育成事業）の推進（事務局）

宮城県の公募型プロポーザル事業である「新卒者等未経験者及び中堅層向けデジタル人材育成業務」及び「地域高度デジタル人材育成業務」の令和8年度企画提案に参画し採択されたことから、地域の実情やニーズを踏まえた新卒者等向けIT教育、中堅層向けIT教育、高度DX人材育成教育を実施する。

4. 情報収集・広報事業（広報）

協会情報誌、ホームページ、SNS、PR 動画等を活用し、MISA の活動および地域 DX の取り組みを戦略的に発信する。30 周年記念事業と連動したブランド強化を図り、協会認知度と会員価値の向上を目指す。

（1）協会情報誌作成・配布

従来どおり年 2 回発行（4 月、10 月）、発行部数は各 600 部とする。また、協会情報誌の電子版についても検討する。さらに、協会案内パンフは適宜更新する。

（2）協会HPに関する企画運営

MISA 関連イベントをHP & Facebook を活用し内外にタイムリー情報発信することにより MISA のプレゼンス向上を図るとともに、対外的な情報発信に加え、MISA 会員に対し親しみやすくかつ有益な情報を提供する。

（3）MISA 公式 SNS 開設による知名度向上

最新の SNS 利用等により新規ターゲット層が多く利用する SNS を調査し、新たな MISA 公式 SNS を開設、情報発信することで、知名度向上、新規会員や人材確保に貢献する。

（4）PR 動画の積極的活用

前年度、MISA 創立 30 周年記念事業の一環として作成した PR 動画を活用シーンに合わせ整理するとともに、積極的活用を推進する。

（5）会員企業や各種メディアへの情報提供等

- ・ MISA 会員企業への公平・公正な情報発信を行う。（行政や関係団体からの情報、労務通信、産業医新聞、サーバー関連注意情報ほか）
- ・ 委員会ごとのイベントなど情報が必要な会員へきめ細かく伝えるように工夫する。
- ・ MISA の特徴的な行事を取り上げ、新聞等のメディアに情報提供する。

II. 地域IT産業基盤強化事業

1. 経営者層研鑽（経営）

IT 化の進展に伴って制定される法律・制度等について時期を得たテーマを選定し、内容、経営に及ぼす影響、対処方法等について、研修会を開催して周知を図る。（12 月）

2. 組織基盤の強化

首都圏一極集中の ICT ビジネス環境の中、これまで培った会員相互連携の一層の拡大・強化により業務の相互融通の拡大を図るなど、可能な方策の導入に向けて組織を挙げて取り組むものとする。

（1）行政機関との連携（政策提言）

行政機関との定期的な情報交換会を行う等、MISA として必要な提言・要望を検討していく。

(2) ビジネスチャンス創出と地域貢献（政策提言）

行政との戦略的なパートナーシップのもとで会員の新規受注を支援するとともに、会員企業全体での協業ビジネスを推進することにより、MISAプレゼンスの向上と地域への貢献を図る。

- ・プライム会員の公募と情報交換(半年毎)の実施
- ・宮城県、仙台市からのDX促進につながる相談窓口として情報交歓会の実施
- ・行政のDX推進施策や地場企業への助成制度ほか、会員のビジネス拡大につながる情報の共有

(3) MISA 創立30周年に向けて記念イベントの実施（経営、広報、事務局）

「30周年＝ブランド再定義の年」という認識のもと、MISA創立30周年の各種記念イベントを実施し、これまでのMISAの歴史を振り返り、次世代に向けた活動につなぐ。

3. 交 流 事 業

(1) 経営者層による情報・意見交換の活発化（経営）

協会顧問・参与や功労者の参加を仰ぎ、委員会横断的な情報交換の場として交流サロンを運営する。新規入会会員や経営者層以外の方の参加も広く求め原則毎月（年8回程度）開催する。

（4月、5月、7月、9月、10月、11月、2月、3月）

(2) 女性対象のセミナー・交流会（経営）

多くの女性が活躍している現状に鑑み、時宜に適したテーマにより女性を対象とするセミナー、交流会（ミサリー）を2回開催する。

（7月、1月）

(3) 親睦ゴルフ大会（経営）

会員や委員会間の横断的な親睦交流の場として年2回開催する。

（4月、10月）

(4) 海外の業界団体及び企業との連携（グローバル）

- ・JISA国際部イベントの参加、さらに既存交流団体（JISA、CISA等）や新規団体（日本ネットワーク国際部会（JNSA）、韓日財団）との連携、そしてASEANほか世界各国の業界団体と積極的な交流による国際連携意識の醸成。
- ・国際人材（留学生、域内滞在国際人、および新規招聘人材）の採用促進事業の展開（文科省・経産省インターンシップ受入れ事業との連携など）。

Ⅲ. 共通基盤事業

1. 福利厚生施策の充実（福利厚生）

会員の福利厚生・交流に関する事業・行事を下記の通り実施する。

(1) ヘルスケア関連事業

経営委員会、人材育成委員会とタイアップし、MISA新人研修時に共同活用産業医によるメンタルヘルスカリキュラムを実施する。また、セルフケア、ラインケアについての情報発信と会社におけるストレスチェック制度、過重労働対策や生活習慣病についてのセミナーを検討し、開催する。

（11月）

(2) レクリエーション事業

a. MISA 会長杯フットサル大会

MISA 会長杯フットサル大会は、会員に定着し好調なことから、今年度も昨年度に引き続き 2 回実施する。 (6 月、10 月)

b. 船釣り大会

年代を超えた会員相互のコミュニケーションと沿岸部地域活性化に向け、船釣り大会を実施する。

(6 月、10 月)

c. 新企画の検討

これまで実施してきたレクリエーション事業に加え、新たな交流イベントを企画・検討する。

(3) MISA 会員に対する福利厚生事業の広報

新たな施策について随時検討を進めるとともに、実施中の福利厚生関連の施策について、MISA 会員が広く認知し、有効に活用 できるように広報活動を行う。

- ① IT けんぽ
- ② PET がん健診
- ③ 福利厚生倶楽部
- ④ 集団扱い損害保険 等

(4) 他企画事業の会員への紹介

各種支援機関が実施する福利厚生諸施策の紹介を通し、魅力ある職場づくりに貢献する。

- ・宮城産業保健推進センター実施事業 等

2. 協会運営に関する事業・行事（事務局）

(1) 通常総会・理事会及び賀詞交歓会の開催

事業・決算報告、事業計画・予算等に関する通常総会（6 月）、理事会（6 月、1 月、3 月）、賀詞交歓会（1 月）を開催する。

(2) 会員増強に関する事業

- ・宮城県進出 ICT 関連企業等への引き続き行事案内などを通して活動への参加を呼びかける。
- ・協会活動に対する新入会員の理解を深めるためのオリエンテーションを実施する。

(3) 委員会活動等の調整

協会活動全体の円滑な運営を図るため、事務局と連携のもと定期的に事業運営会議を開催し、情報・意見交換、連携協力事項に関する協議を行う。 (5 月、9 月、11 月、3 月)

(4) 規程類の整備

一般社団法人として必要な規程類の整備・改定を行う。

以 上

[添付資料]

- ・2026 年度（令和 8 年度）事業計画（委員会単位）